



Tree is cycling in our life.
The tree can live without a human being,
but we can't live without the tree.
木は私たちがいなくても生きていけます。でも私たちは、
木がなかったら生きてはいけません～

予約販売
受付中!

樹 eriebox

樹えりーぼっくす

環境と人、人と人をつなぐ



CO₂ - C = O₂



鳥達が住めない山は、
森とは言えません。



水は、有限資源です。



【オーガニック野菜】

樹えりーぼっくすは、段ボールコンポストの長所を活かし短所を克服して生まれた、
電気を使わずに生ごみを堆肥に変えることができる、業界初の「木製生ごみ処理容器」です。
木材が本来持っている数ある特性を活かし、家庭等から出る生ごみの減量化に努めます。

1人からできる地球を守る第一歩、あなたも始めてみませんか？

とうりーあらいぶ



TEL : 0983-25-2602
FAX : 0983-32-7786

e-mail : info@tree-alive.com

☆特許 第5576967号
☆商標登録
第5884746号

～はじめに～

木製コンポストは、好気性菌という空気を好む微生物達のはたらきによって堆肥化されるコンポストです。

酸性とアルカリ性の基材の中に、生ごみを入れると化学反応をおこして堆肥に変わっていきます。化学反応といってもすべて自然界の微生物の力(バイオエネルギー)を借りるだけです。

微生物達が安心して、快適に働ける場所として、“木製のコンポスト”を開発・製作致しました。

～樹えりーぼっくすとは～

樹えりーぼっくすは、多種多様なコンポストの長所を活かし、短所を克服して生まれました。電気を使わずに生ごみを堆肥に変えることができる、業界初の「木製生ごみ処理容器」です。

本来、木材が持っている数ある特性を活かし、家庭などから出る生ごみの減量化に努めます。

☆特許 第5576967号
☆商標登録 第5884746号

【コンポストの種類と特徴】

	【長 所】	【短 所】
 ダンボール型	• 手軽に始められる • コストが安い	• 箱が壊れやすい • 雨、風に弱い • 置く場所を選ぶ
 電動型	• 手間がかからない	• 機械の値段が高価 • 電気代がかかる • 堆肥になりにくい • 処理量が少ない
 設置型	• 容器が丈夫で長持ち • コストが安い	• 土のある場所が必要 • 水分調整が難しい • 切り返しが困難 • 悪臭が残る
 木製型	• 気になる悪臭が出ない • 場所を選ばない • 生ごみや廃油等何でも入れられる • 壊れにくい • 森林保護に貢献できる	• 基材が必要 • 攪拌(かくはん)した方が良い ※攪拌…かき混ぜること。

【セット内容】

- ・木製コンポスト(宮崎県産材 杉&ヒノキ) ※¹ 無塗装
- ・金具
- ・基材

★天然乾燥バーク：九州産の杉・ヒノキの皮を粉砕、乾燥させたもの

★もみ殻くん炭：もみ殻を燻したもの

【ランニングコスト(基材代の目安)】

Mサイズ(25L 1~3人用) 約1,000円/年

Lサイズ(40L 4~6人用) 約1,500円/年

一日の一人当たりの生ごみの量は、統計上 約200gとされています。
家庭差はありますが、毎日の使用継続は可能です。

【メンテナンス】

保証：1年

不都合がございましたら、無償で部材の交換を致します。

1年に1度は、基材をすべて取り出し、水で丸洗いして頂けると、
長持ちします。

*丸洗い洗浄、壁面材のフィルター交換及び基材の交換は、相談を
承ります。

※¹無塗装で販売しておりますので、水性・防腐・防虫・防カビ塗料の塗装を
お願い致します。



HP



LINE



TREE_ALIVE



Q&A



BASEショップ



楽天ショップ

【サイズ】

〈樹えりーぼくす〉

幅×奥行×高さ

M : 45×37×53 (cm)

L : 50×40×60 (cm)

〈バケツ型木製コンポスト〉

直径(下)×直径(上)×高さ

26×34×30 (cm)

【価格】

オープン価格



【塗装代】

3,000円(税別)

～予約販売～

※予約申込…下記の販売店さんに予約をお願い致します。
(ネット販売もしております。)

※各市町村のコンポスト補助金(都農町の場合：1/2補助)を
ご活用ください。

【販売店】

※販売店募集中！

TEL:090-7296-6865 谷村まで

～木製コンポストの使い方～

① 基材を入れる

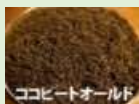
酸性基材：いずれか1つ



のこくず



ドライバーク



ココヒートオール

アルカリ性基材



くん炭



基材は、左の図のものを選んで、酸性とアルカリ性を混合させて使用します。
(複数の基材を混合させることも可能です)

***酸性**：木の皮orのこくずorピートモス etc

***アルカリ性**：くん炭(もみ殻を燻したもの)

木の皮は、産業廃棄物として扱われています。
基材に木の皮(乾燥したモノで微生物も豊富)を使用することで、林業界の産業廃棄物問題を解決することが出来ます。

比率は

酸性 : アルカリ性

16 : 1

② 生ごみ投入

⑦ 基材セット①を容器の3分の2程の深さまで入れます。

⑧ 基材を少し掘り下げ、くぼみの中に、生ごみを入れます。

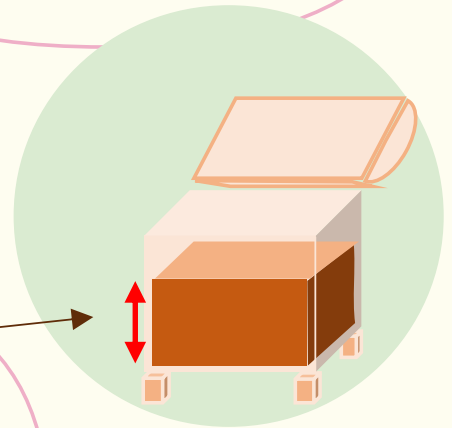
⑨ 生ごみに基材をかぶせます。

⑩ 生ごみはできるだけ、午前中に投入します。

⑪ 木製コンポストの開始当初は、魚介類や肉類は控えめにします。

～point 1～

生ごみは小さく切ると、分解速度が速くなります。



③ 混ぜる

⑫ 夕方から夜にかけて、一度混ぜます。
(酸素を入れるため)

⑬ 翌朝、生ごみ投入前に⑫同様に混ぜます。

～point 2～

半日周期で混ぜることで、空気を好む好気性菌の活動が活発になり、分解速度を速めます。

④ ①～⑬の繰り返し

☆生ごみを入れない日は、混ぜる必要はありません。
☆数日または、数カ月、使用しない場合も同様です。

堆肥化
…毎日使用していて、
発酵分解速度が遅くなってきた、
と感じた場合

堆肥が必要？

YES

NO

わからない

パターン1

半量取り出し続行
半量を土中で二次発酵
※完熟堆肥
(1~2ヶ月後)

半量取り出し、
燃えるゴミとして出す。
残りの半量で続行。

そのまま放置
①気が向いたら再開
②堆肥が乾燥したら、
燃えるゴミとして出す。

パターン2

全量取り出し、
土中で二次発酵
※と同じ

全量取り出し、
燃えるゴミとして出す。

☆生ごみ投入をやめて、完熟堆肥化の手順

① 投入停止→② 1週間ほど放置→③ 水分補給→④ においチェック
(目安:500mlペットボトル1~2本)

におい

→ある⇒②~④を繰り返す

→なし⇒土と混ぜ合わせ完熟化(1~2ヶ月)

☆堆肥として使用する場合の割合の目安

土：堆肥 = 10：1